

河合町都市計画マスタープラン改定に係る 住民アンケート資料

調査時期：平成20年9月26日～10月15日

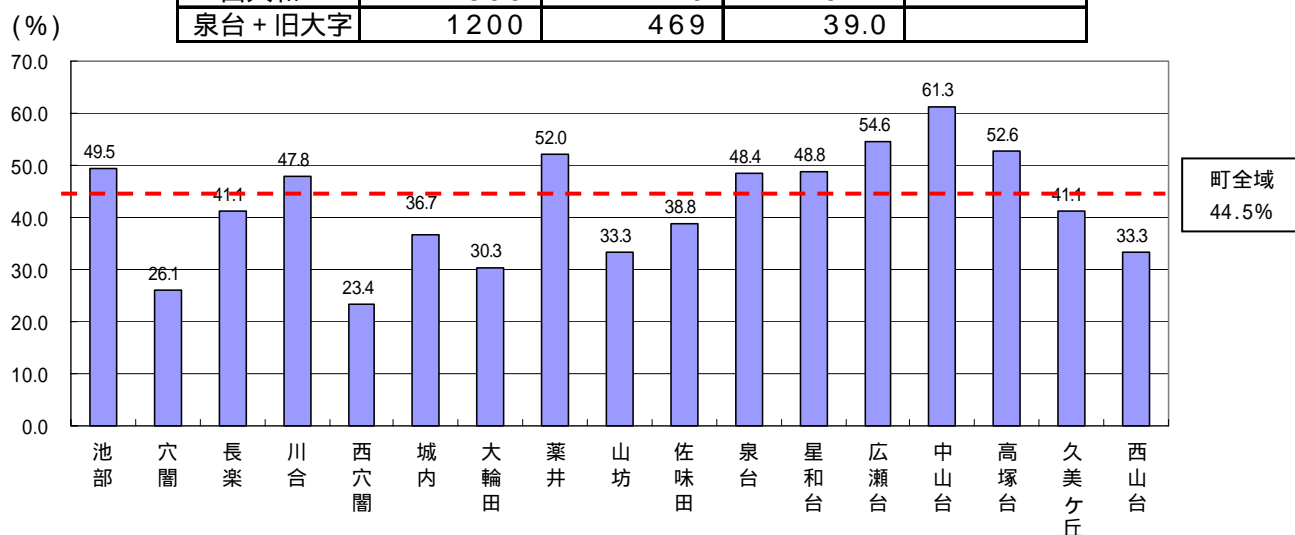
(1) 住民アンケートの概要

対象地域：河合町全域
 調査時期：平成20年9月26日～10月15日
 調査対象：18歳以上の町民のなかから無作為に2,000人を抽出
 配布・回収方法：郵送による配布、郵送又は回収箱での回収

(2) 住民アンケートの回収率

2000通配布のうち回収したのは891通であり、回収率は町全体で44.5%であった。
 西大和ニュータウンの回収率は51.2%、その他の地域は39.0%であり、西大和ニュータウンの住民からの回答率がやや高めであった。

地区名	配布部数	回収部数	回収率(%)	備考
池部	117	58	49.5	
穴闇	168	44	26.1	
長楽	34	14	41.1	
川合	163	78	47.8	
西穴闇	81	19	23.4	
城内	49	18	36.7	
大輪田	165	50	30.3	
薬井	50	26	52.0	
山坊	24	8	33.3	
佐味田	139	54	38.8	
泉台	198	96	48.4	
星和台	221	108	48.8	西大和NT
広瀬台	130	71	54.6	西大和NT
中山台	101	62	61.3	西大和NT
高塚台	224	118	52.6	西大和NT
久美ヶ丘	124	51	41.1	西大和NT
西山台	12	4	33.3	
無回答(不明)	0	12		
町全域	2000	891	44.5	
西大和NT	800	410	51.2	
泉台+旧大字	1200	469	39.0	



(3) 住民アンケートの集計結果

回答者の属性について

【問1 性別・年齢・職業に関する調査】

回答者の性別は、女性が59.5%、男性が18.4%で、女性が6割程度を占めた。

回答者の年齢は、60歳代が最も多く(32.4%)、次いで50歳代、70歳以上の順で多かった。50歳以上の回答者が75%を占めている。

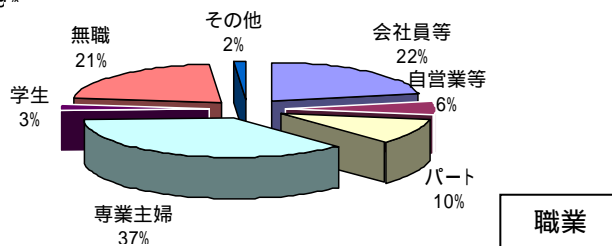
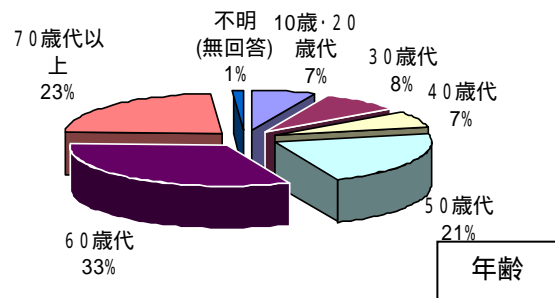
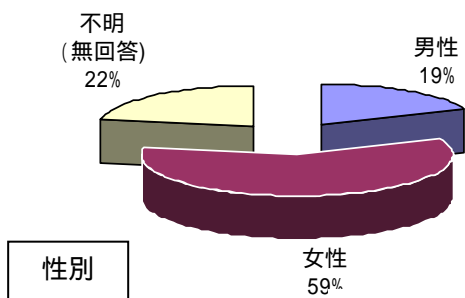
回答者の職業は、専業主婦が最も多く(36.1%)、次いで会社員、無職の順で多かった。

問1 あなたの性別・年齢・職業について、おたずねします。(1つ選択)

選択肢		回答数	割合
1	男性	164	18.4%
2	女性	530	59.5%
	不明(無回答)	197	22.1%
計		891	100.0%

選択肢		回答数	割合
1・2	10歳・20歳代	60	6.7%
3	30歳代	70	7.9%
4	40歳代	64	7.2%
5	50歳代	191	21.4%
6	60歳代	289	32.4%
7	70歳代以上	207	23.2%
	不明(無回答)	10	1.1%
計		891	100.0%

選択肢		回答数	割合
1	会社員等	189	21.2%
2	自営業等	49	5.5%
3	パート	91	10.2%
4	専業主婦	322	36.1%
5	学生	24	2.7%
6	無職	185	20.8%
7	その他	13	1.5%
	不明(無回答)	18	2.0%
計		891	100.0%

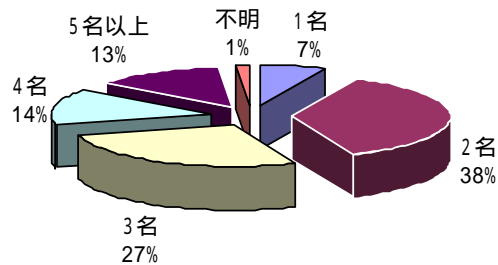


【問2 家族構成に関する調査】

回答者の家族構成は、2人家族が36.9%で最も多く、次いで3人家族が27.5%、4人家族が14.0%、5名以上が13.5%と続いた。

問2 あなたと一緒に住んでいるご家族の構成について、おたずねします。(1つ選択)

選択肢		回答数	割合
1	1名	60	6.7%
2	2名	329	36.9%
3	3名	245	27.5%
4	4名	125	14.0%
5	5名以上	120	13.5%
	不明(無回答)	12	1.3%
計		891	100.0%



問3は回答者の居住地に関する設問であり、「(2)住民アンケートの回収率」のアンケート回収部数に相当するため集計を割愛する。

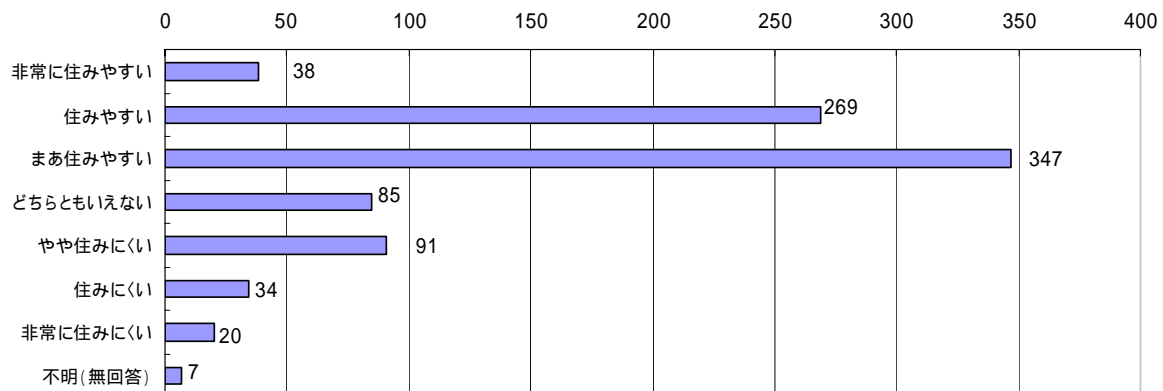
河合町の現在のイメージについて

【問4 住み心地に関する調査】

現在の河合町の住み心地については、「まあ住みやすい」が38.9%で最も多く、「住みやすい」が30.2%と続いた。「非常に住みやすい」、「住みやすい」、「まあ住みやすい」を合わせると、7割強を占めている。

問4 河合町の住み心地について、おたずねします。(1つ選択)

	選択肢	回答数	割合
1	非常に住みやすい	38	4.3%
2	住みやすい	269	30.2%
3	まあ住みやすい	347	38.9%
4	どちらともいえない	85	9.5%
5	やや住みにくい	91	10.2%
6	住みにくい	34	3.8%
7	非常に住みにくい	20	2.2%
	不明(無回答)	7	0.8%
計		891	100.0%

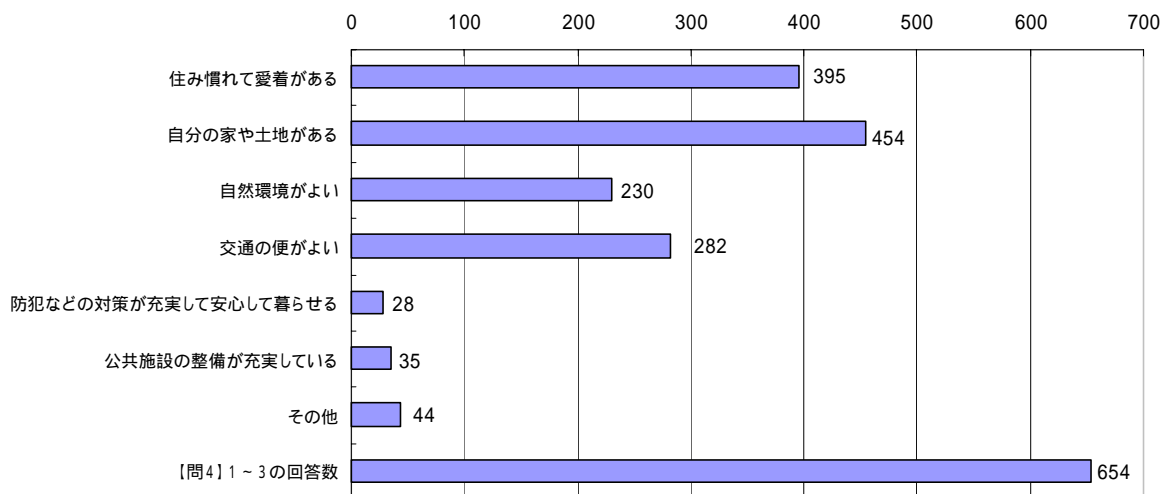


【問5 住み心地に関する調査】

問4で「非常に住みやすい」、「住みやすい」、「まあ住みやすい」を選択した回答者の選択理由をみると、「自分の家や土地がある」、「住み慣れて愛着がある」を挙げた回答者が6割以上にのぼった。次いで、「交通の便がよい」、「自然環境がよい」が続いた。防犯面や公共施設の充実を挙げた回答者は少なかった。

問5 問4で1～3とお答えいただいた方におたずねします。(複数回答可)

	選択肢	回答数	割合
1	住み慣れて愛着がある	395	60.4%
2	自分の家や土地がある	454	69.4%
3	自然環境がよい	230	35.2%
4	交通の便がよい	282	43.1%
5	防犯などの対策が充実して安心して暮らせる	28	4.3%
6	公共施設の整備が充実している	35	5.4%
7	その他	44	6.7%
計	【問4】1～3の回答数	654	100.0%

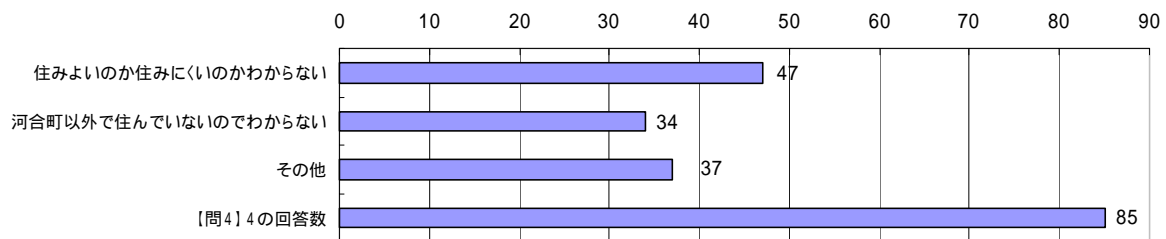


【問6 住み心地に関する調査】

問4で「どちらともいえない」を選択した方の選択理由をみると、「住みよいか住みにくいかわからない」、「河合町以外で住んでいないのでわからない」の順で多かった。

問6 問4で4とお答えいただいた方におたずねします。(複数回答可)

	選択肢	回答数	割合
1	住みよいか住みにくいかわからない	47	55.3%
2	河合町以外で住んでいないのでわからない	34	40.0%
3	その他	37	43.5%
計	【問4】4の回答数	85	100.0%



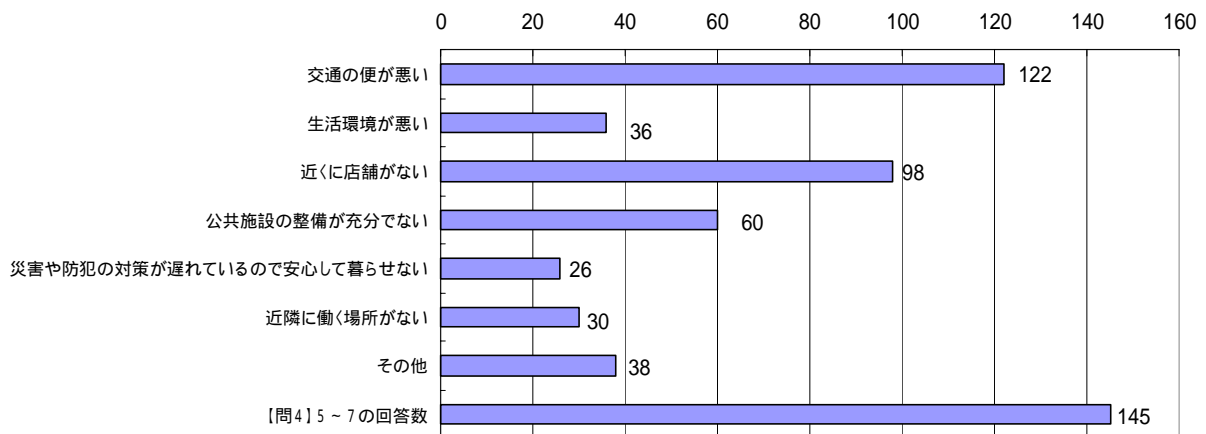
【問7 住み心地に関する調査】

問4で「やや住みにくい」、「住みにくい」、「非常に住みにくい」を選択した回答者の選択理由をみると、「交通の便が悪い」が最も多く84.1%にのぼった。

次いで「近くに店舗がない」が67.6%、「公共施設の整備が充分でない」が41.4%と多かった。

問7 問4で5～7とお答えいただいた方におたずねします。（複数回答可）

	選択肢	回答数	割合
1	交通の便が悪い	122	84.1%
2	生活環境が悪い	36	24.8%
3	近くに店舗がない	98	67.6%
4	公共施設の整備が充分でない	60	41.4%
5	災害や防犯の対策が遅れているので安心して暮らせない	26	17.9%
6	近隣に働く場所がない	30	20.7%
7	その他	38	26.2%
計	【問4】5～7の回答数	145	100.0%



河合町の将来のまちづくりについて

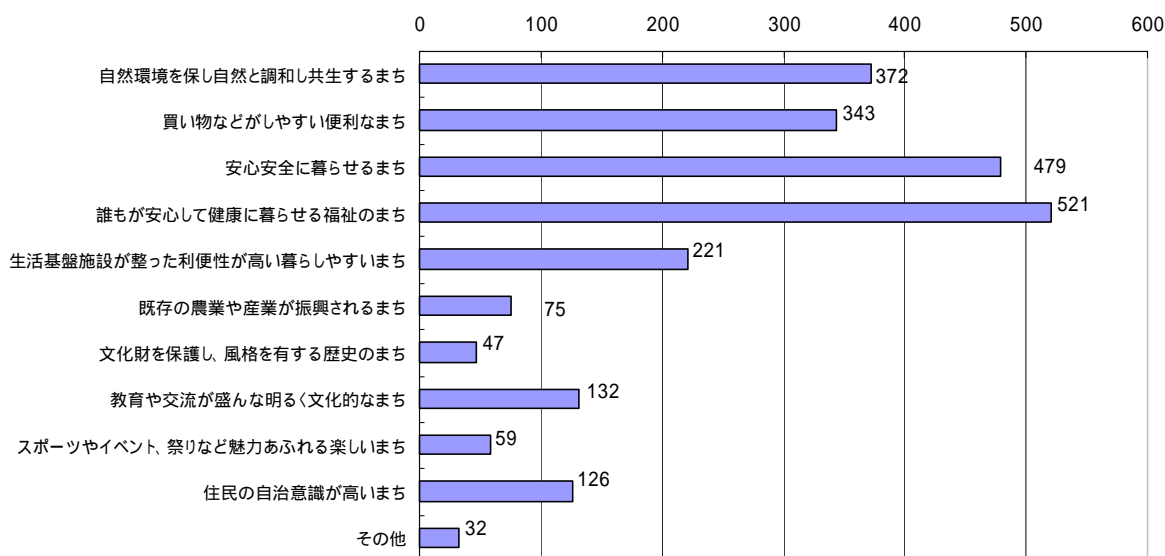
【問8 将来に望むまちの将来像に関する調査】

将来に望むまちの将来像についてみると、「誰もが安心して健康に暮らせる福祉のまち」、「安心安全に暮らせるまち」を選択した回答者が5割を超えた。
 次いで、「自然と調和し共生するまち」、「買い物などがしやすい便利なまち」を選択した回答者が4割程度で比較的多かった。
 「風格を有する歴史のまち」や「スポーツなど魅力あふれる楽しいまち」を選択した回答者は少なかった。

問8 将来、河合町がどのようなまちになればいいとお考えになりますか。(3つ以内選択)

	選択肢	回答数	割合
1	自然環境を保し自然と調和し共生するまち	372	41.8%
2	買い物などがしやすい便利なまち	343	38.5%
3	災害や防犯などの対策が充実した安心安全に暮らせるまち	479	53.8%
4	子どもからお年寄りなど誰もが安心して健康に暮らせる福祉のまち	521	58.5%
5	道路・公園・下水道などの生活基盤施設が整った利便性が高い暮らしやすいまち	221	24.8%
6	既存の農業や産業が振興されるまち	75	8.4%
7	文化財を保護し、風格を有する歴史のまち	47	5.3%
8	教育や交流が盛んな明るく文化的なまち	132	14.8%
9	スポーツやイベント、祭りなど魅力あふれる楽しいまち	59	6.6%
10	地域のコミュニティ活動やまちづくりへの住民参画が活発で住民の自治意識が高いまち	126	14.1%
11	その他	32	3.6%

「割合」は、回収部数 891 を分母とした数字



【問9 - まちの発展に関して重視していく事項に関する調査】

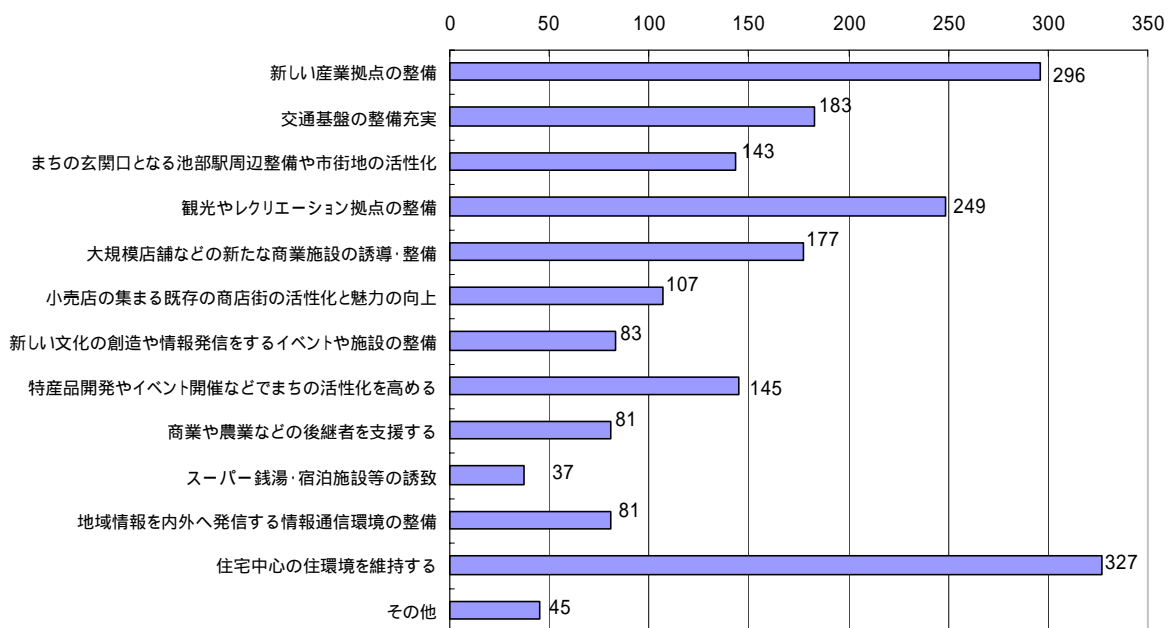
まちの発展に関して特に重視することは、「住宅中心の住環境を維持する」が36.7%で最も多く、多くの方が住みやすさの持続を求めていることがわかる。

次いで、「新しい産業拠点の整備」、「観光やレクリエーション拠点の整備」を選択した回答者が3割程度、「交通基盤の整備充実」、「新たな商業施設の誘導・整備」を選択した回答者が2割程度と多かった。

問9 まちの発展に関して、今後、河合町のまちづくりを進めるうえで、具体的にどのような点を特に重視していくことを望まれますか。(3つ以内選択)

選択肢	回答数	割合
1 若者が働ける工場や企業を誘致するなど新しい産業拠点の整備	296	33.2%
2 近隣町をネットワークする幹線道路網の整備など交通基盤の整備充実	183	20.5%
3 まちの玄関口となる池部駅周辺整備や地域の中心となる市街地の活性化	143	16.0%
4 馬見丘陵公園などの自然や歴史・文化資源を利用した観光やレクリエーション拠点の整備	249	27.9%
5 大規模店舗などの新たな商業施設の誘導・整備	177	19.9%
6 小売店の集まる既存の商店街の活性化と魅力の向上	107	12.0%
7 新しい文化の創造や情報発信をするイベントや施設の整備	83	9.3%
8 特産品の開発やイベントの開催などでまちの活性化を高める	145	16.3%
9 商業や農業などの後継者を支援する	81	9.1%
10 スーパー銭湯・宿泊施設等の誘致	37	4.2%
11 地域情報を内外へ発信する情報通信(光ケーブルなど)環境の整備	81	9.1%
12 住宅中心の住環境を維持する	327	36.7%
13 その他	45	5.1%

「割合」は、回収部数 891 を分母とした数字



【問9 - 調和のとれた土地利用に関して重視していく事項に関する調査】

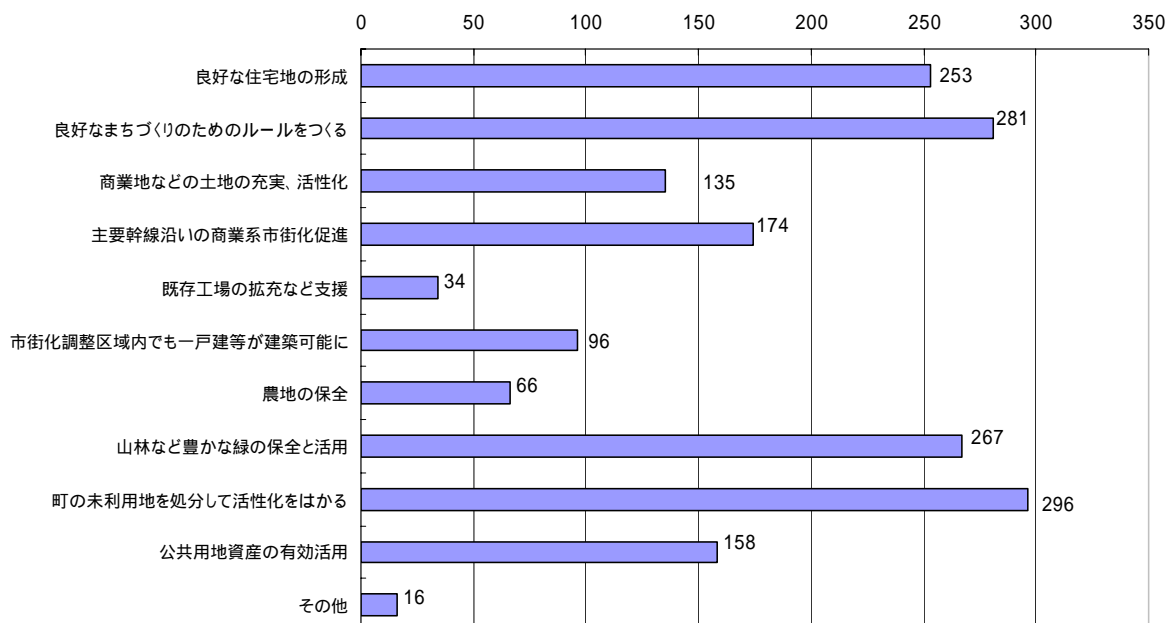
調和のとれた土地利用に関して特に重視することは、「町の未利用地を処分して活性化をはかる」が33.2%で最も多かった。

次いで、「良好なまちづくりのためのルールをつくる」、「山林など豊かな緑の保全と活用」、「良好な住宅地の形成」を選択した回答者が3割程度で続いた。

問9 調和のとれた土地利用に関して、今後、河合町のまちづくりを進めるうえで、具体的にどのような点を特に重視していくことを望まれますか。(3つ以内選択)

	選択肢	回答数	割合
1	良好な住宅地の形成	253	28.4%
2	良好なまちづくりのためのルールをつくる	281	31.5%
3	商業地などの土地の充実、活性化	135	15.2%
4	主要幹線（県道大和高田斑鳩線・桜井田原本王寺線等）沿いの商業系市街化促進	174	19.5%
5	既存工場の拡充など支援	34	3.8%
6	市街化調整区域内でも一戸建住宅等が建築可能な指定区域を積極的に活用する	96	10.8%
7	現行市街化区域内農地を市街化調整区域へ編入するなどして農地を保全する	66	7.4%
8	山林など豊かな緑の保全と活用	267	30.0%
9	町の未利用地（土地開発公社保有地など）を処分して活性化をはかる	296	33.2%
10	町民グラウンド用地の処分など公共用地資産の有効活用	158	17.7%
11	その他	16	1.8%

「割合」は、回収部数 891 を分母とした数字



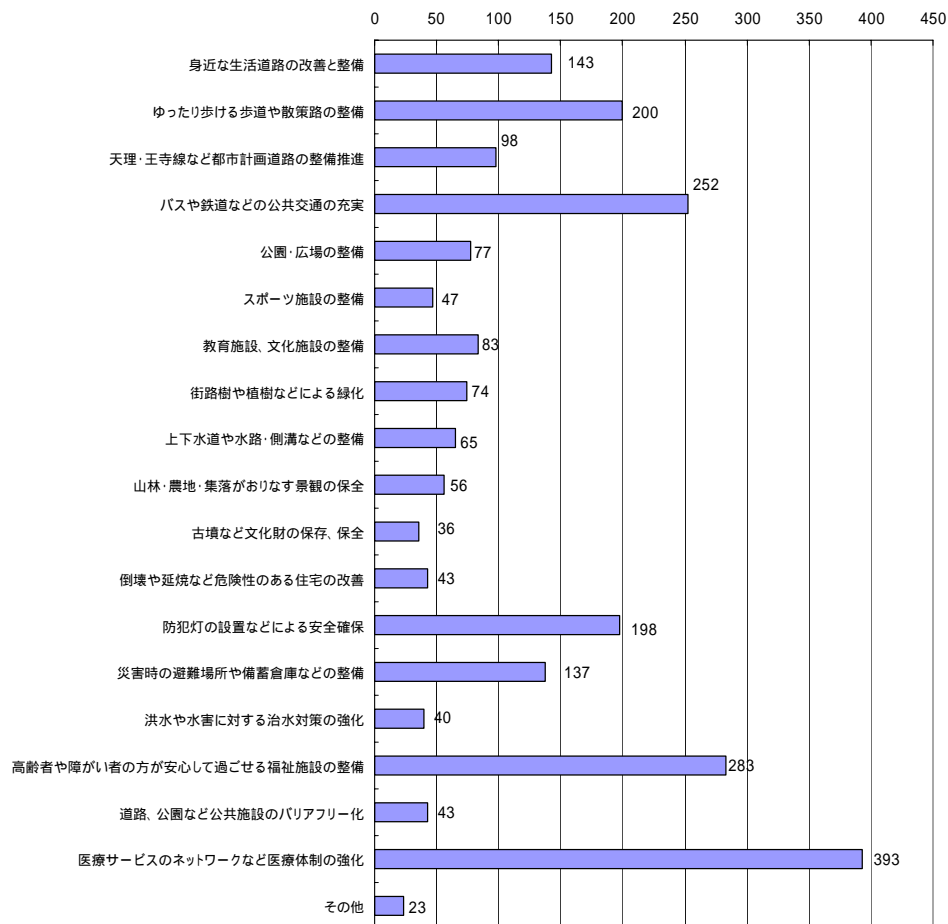
【問9 - 生活基盤・環境保全・防災・福祉等に関して重視していく事項に関する調査】

生活基盤・環境保全・防災・福祉等で特に重視することについては、「医療体制の強化」を望む声が44.1%で最も多かった。次いで「福祉施設の整備」が36.7%で続き、高齢化に即した施策が求められていることがわかる。

問9 生活基盤・環境保全・防災・福祉等に関して、今後、河合町のまちづくりを進めるうえで、具体的にどのような点を特に重視していくことを望まれますか。(3つ以内選択)

選択肢	回答数	割合
1 身近な生活道路の改善と整備	143	16.0%
2 ゆったり歩ける歩道や散策路の整備	200	22.4%
3 天理・王寺線など都市計画道路の整備推進	98	11.0%
4 バスや鉄道などの公共交通の充実	252	28.3%
5 公園・広場の整備	77	8.6%
6 スポーツ施設の整備	47	5.3%
7 教育施設、文化施設の整備	83	9.3%
8 街路樹や植樹などによる緑化	74	8.3%
9 上下水道や水路・側溝などの整備	65	7.3%
10 山林・農地・集落がありなす景観の保全	56	6.3%
11 古墳など文化財の保存、保全	36	4.0%
12 倒壊や延焼など危険性のある住宅の改善	43	4.8%
13 防犯灯の設置などによる安全確保	198	22.2%
14 災害時の避難場所や備蓄倉庫などの整備	137	15.4%
15 洪水や水害に対する治水対策の強化	40	4.5%
16 高齢者や障がい者の方が安心して過ごせる福祉施設の整備	283	31.8%
17 道路、公園など公共施設のバリアフリー化	43	4.8%
18 医療サービスのネットワークなど医療体制の強化	393	44.1%
19 その他	23	2.6%

「割合」は、回収部数 891 を分母とした数字



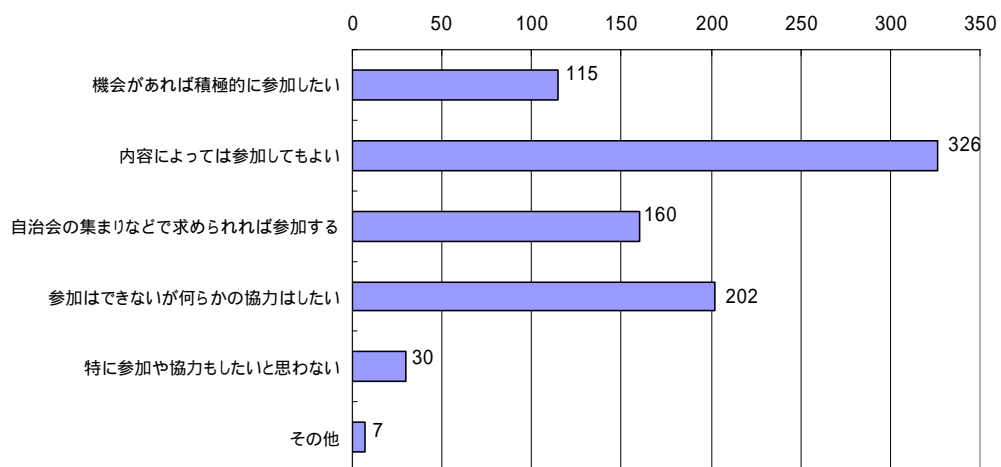
まちづくりへの参加について

【問 10 まちづくりへの参加意向に関する調査】

まちづくりへの参加意向については、「内容によっては参加してもよい」が最も多く 36.6% であった。
9 割以上の方が何らかの形でまちづくりへの参加意向があることがわかった。

問 10 まちづくりは町民の皆さんの協力が必要です。あなたは、どの程度の参加をしたいと思いますか。(1つ選択)

	選択肢	回答数	割合
1	機会があれば積極的に参加したい	115	12.9%
2	内容によっては参加してもよい	326	36.6%
3	自治会の集まりなどで求められれば参加する	160	18.0%
4	参加はできないが何らかの協力はしたい	202	22.7%
5	特に参加や協力もしたいと思わない	30	3.4%
6	その他	7	0.8%
	不明(無回答)	51	5.7%
計		891	100.0%



【問 11 行政に望む取り組み体制に関する調査】

特に行政に望む取り組み体制については、「住民と行政等が協力してまちづくりを進めていく仕組みや場を活用する」を選択した回答者が 33.1%で最も多く、官民協働のまちづくりを望む声が多数を占めた。

次いで、「町政の公開などまちづくりに関する情報が得られるようにする」が 24.9%と続いた。情報公開を望む声も比較的多かった。

問 11 まちづくりを進めていくにあたって、あなたが特に行政に望む取り組み体制を選択してください。(1つ選択)

選択肢		回答数	割合
1	町政の公開などまちづくりに関する情報が得られるようにする	222	24.9%
2	町の広報やホームページでまちづくりに関するPRを充実する	122	13.7%
3	まちづくりに関する相談窓口を充実し、説明会や勉強会を開く	57	6.4%
4	住民や事業者、行政のお互いのまちづくりに対する役割分担を明確にする	69	7.7%
5	住民と行政等が協力してまちづくりを進めていく仕組みや場を活用する	295	33.1%
6	町都市計画審議会等の意見を聞きながらまちづくりを進める	41	4.6%
7	行政独自で進めるべきである	9	1.0%
8	その他	16	1.8%
	不明(無回答)	60	6.7%
計		891	100.0%

